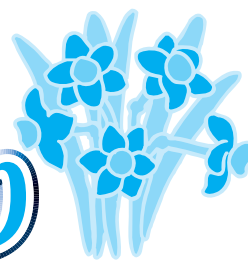


和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>



子ども議会風景

平成21年第2回定例会

平成21年第2回定例会が、7月13日から7月30日までの18日間の会期で開催されました。

市長より、所信表明並びに平成21年度市政運営方針が披瀝され、それに対して会派を代表し5人の議員から大綱質疑が行われました。

また「工事請負契約の変更について（上伯太線橋梁工事）」など議案14件、報告22件が上程され、それぞれ可決等されたほか、議員提出議案による意見書4件についても可決され、関係行政庁に送付されました。

7月28日・29日には11人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。

平成21年第2回臨時会

5月28日に第2回臨時会が開催されました。概要につきましては、7ページに掲載しております。

主な掲載内容

- 第2回定例会大綱質疑
常任委員会審査報告
・・・・・・・・2～3ページ
- 一般質問
・・・・・・・・4～6ページ
- 意見書、第2回臨時会の
概要等・・・・・・・・7ページ
- 第3回定例会の予定等
・・・・・・・・8ページ

第2回定例会

大綱質疑

平成21年度の市政運営方針に対し、会派を代表し、5人の議員から大綱質疑が行われました。

ここでは紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

市民税、上下水道料金の10%引き下げについて

【議員】一点目、この市民税の引き下げは恒久的に行うのか。二点目、市長は四年間かけて検討との考えのようだが、あまりに悠長すぎないか。早急に10%引き下げの工程表を策定し公表を求める。三点目、10%引き下げの原資だが、市長は公民協働の必要性を言われているが、市長の言う公民協働とはどのような意味か。四点目、市長は子ども達にツケを回さないことを公約にしているが、10%引き下げの財源は市民税の引き下げではなく市債の削減にこそ使われるべきでは。五点目、市民税引き下げの起債制限など他

への影響をどう考えているのか。続いて上下水道料金の引き下げについて、市長は光明池からの原水供給量を増やすとともに経費削減で財源としたいとの考えのようだが、そのようなことが果たして可能なのか、また今後四年間の上下水道料金の値上げは。

【市長】私の在任中は引き下げを制度として続ける。実施に至る工程は現時点では明確に提示できない。市長直轄のプロジェクトチームで検討する。公民協働との関係は、これら引き下げの検討過程を通じ地域の活性化や市民と行政との協働社会を構築したい。この引き下げは現役世代だけが得をする単なるバラマキではない。将来の和泉市の経営改革に資するものとして進めたい。市債発行への影響はこれを回避する方策も含め検討する。水道料金の引き下げについて、光明池原水の比率を増やし対応するのはむしろ正しい。事業の効率化やコストダウン等の経費削減で値下げを実現したい。急激な社会情勢の変化がない限り四年間値上げは想定していない。

市税10%減税、(仮称)和泉市自治基本条例、補正予算、市立病院について

【議員】五月会を代表して大綱質疑を行う。市民税10%減税についての構想は以前から持っていたか。市の厳しい財政状況の下でやれる自信はあったのか。その方法は。

【市長】選挙の数日前に支持者から助言があり、天から公約が降ってきたと受け止めた。現時点では明確な方策はなく早急にプロジェクトチームを立ち上げ検討を指示する。

【議員】和泉市自治基本条例について市長の考えは。

【市長】公民協働のまちづくりを進める上で、みんなが議論し作り上げる過程と制定後条例を活かし育てることが大切と考える。

【議員】補正予算で敬老祝い金が出ている。復活と言いながら半額支給であるが、今後継続するか。

【市長】高齢者施策充実の一環として復活を決断した。事業は継続するが支給単価は来年以降検討する。

【議員】《市立病院再生》と公約にあったが再生の意味は。

【市長】経営形態は現行のまま継続し、その中で一日も早く経営立て直しを図る。

【議員】TV番組では、10%減税の影響額は年50億円と推測していた。我々は大切な税金を扱う責任ある仕事である。《天から降ってきた》公約を掲げるのではなく、十二分に調べ緻密に計算し考察を重ねるべき。今から検討を指示するというのは順序が逆である。公約の市民税10%減税は簡単に実施に踏み切らないようお願いする。和泉市の発展は何十年も前からの歴代市長の努力の賜物。辻市長も、数十年先を見通した上での治政を施していただきたい。そして常に、十分な説明責任を果たされるよう要望する。

市政運営方針における支給・減税・減額について

【議員】市長はマニフェストで敬老祝い金の復活、市民税の10%減税、上下水道料金の10%減額等を掲げられた。あ

らゆる支出を見直し、市民の生活支援を最優先する政策スタイルは市民に浸透するものと期待する。敬老祝い金の復活は高齢者の方々への単なる祝い金ではなく、社会の一員として地域社会で貢献してほしい願いがこもったものであると感じている。敬老祝い金の支給・市民税の減税・上下水道料金の減額につき、費用対効果、相乗効果等も加味された手法をお持ちなのか。

【市長】敬老祝い金は77歳以上のすべての高齢者に支給する制度に復活することとし、市民税減税、上下水道料金減額は任期4年間で方法、時期等を検討していく。単に「支給するだけ、減税するだけ、減額するだけ」というのではなく、地域経済の活性化に寄与したり、市民と行政の協働社会構築に役立ち、地方改革にもつながるような手法がないか、色々知恵を絞りたい。

【議員】「こども部」や「アピール課」、「医療福祉課」等の設置を掲げられているが、機構改革はどうするのか。

【市長】選挙公約の実行に向け、来年度当初の実施を目標

に検討、準備を進めていく。

【議員】景気の低迷、受注・求人への減少等々、市民生活に大きな影響を与え、今後増大するとも考えられる。市民の暮らしを守る観点から、行政としての今後の取り組みについては。

【市長】市発注工事の分離・分割の徹底など受注機会の確保を図る一方、工事前払い金の引き上げや国が行う「地域建設業経営強化融資制度」の導入などを実施していく。

市民税等の減額と行財政改革について

【議員】市長選公約である市民税10%減額は「任期中の実現を検討」とのことだが起債制限されるのではとの問題も含め、検討する基本的考え方を聞きたい。また「子どもにツケをまわさない行政改革」とのことだが、選挙中の政策を見ると、「新たな行財政計画（和泉市再生プラン）の策定」など、結局「民営化によ

る経費削減策」と思われるが、考え方を聞きたい。

【市長】現行の地方債発行制度の下では、税率カットによる方式で減税を実施した場合には、地方債の発行が制限される可能性がある。私の目指す市民税カットの手法は、起債制限のかかるような単純な減税方式のみを想定しているわけではない。この実施及び地域活性化や市民と行政の協働社会の構築に寄与したり、地方行革につながる手法が取れないかと言うことを念頭に置いている。具体的な検討は、今後立ち上げるプロジェクトチームにおいて進めていく。行政改革は、民間の活力と経営感覚を導入し、職員の意識改革、組織の活性化を図ることで「小さな税金で大きなサービスを生み出す」よう努めるもので、市民サービスの水準が低下しないよう、十分配慮して実施していきたい。新たな行財政計画については、行動の指針と目標を定めるアクションプランとして策定を進めていきたい。

【議員】市民税等の減額につ

いては、本当に困っている市民を対象にするなど、対象・方法等充分検討していただきたい。また行政改革での、市民サービスの水準を低下させないという点はよろしく願いたい。

選挙公約実現への道すじ・課題、雇用問題、高齢者施策について

【議員】当選おめでとうございませう。和泉市の今後の間違いない舵取りを期待するとともに、公明党議員団は、今後も市民の目線・生活者の視点で意見要望を申し上げてゆく。一、今回の選挙公約の実現に向けての道筋と課題について市長の決意を聞きたい。二、雇用問題が深刻な状況であるが、市職員の採用に關し、年齢資格の拡大、社会人枠の設定など検討してほしい。また行政として雇用問題に対しての取組みを伺いたい。三、高齢者社会に向かう現在、高齢者への支援が強く望まれる。特に認知症の方のご家族からご相談をたくさん受け

る。どうしようもなく、施設入所を希望されるが、なかなか入所できない。市政運営方針では「認知症地域で支え愛事業」を実施してゆくとある。今後、施設の充実など認知症の方への対応を示されたい。

【市長】一、敬老祝い金の復活は補正予算で対応する。市長公用車の廃止は就任早々手掛けた。市民税10%減税、下水道10%減額についてなど、今後プロジェクトチームをつくり四年以内に実施していく。不退職の決意で望んでいく。二、雇用問題について雇用対策・即戦力の職員採用、年齢別職員数の平準化等を考慮する中で見直しを検討する。市としては、就労支援相談事業や合同就職面接会などの事業を充実する。また国の緊急雇用対策を活用し失業者の雇用につなぐ事業を推進する。三、介護保険事業として、認知症グループホームを3施設、小規模多機能型居宅介護施設を3施設、地域密着型介護老人福祉施設を1施設の整備を予定している。

常任委員会審査報告

総務安全委員会

本委員会は7月22日に開催され「工事請負契約の変更について（上伯太線橋梁工事）」など議案2件を審査し、いずれも原案どおり可決、また「情報公開制度の運用に関する請願」についても審査が行われ、本請願は不採択となりました。

都市環境委員会

本委員会は7月21日に開催され「和泉中央丘陵新住宅市街地開発事業に關連する公園事業の直接施行同意について（つくしの公園）」など議案3件を審査し、いずれの議案も原案どおり可決しました。

厚生文教委員会

本委員会は7月17日に開催され「和泉市ひとり親家庭医療費の助成に關する条例の一部を改正する条例制定について」など議案6件を審査し、いずれの議案も原案どおり可決しました。

一般質問



今定例会では11人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。ここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

細菌性髄膜炎に係るヒブワクチンの公費助成について

【議員】乳幼児の「細菌性髄膜炎」を起こす原因の半分以上を占めているのが「ヒブ菌」である。発症すれば障害を負うなど深刻な事態になりかねない「ヒブ髄膜炎」を未然に防ぐための、ワクチン普及の最大の課題点は経済的負担である。接種費用の一部公費負担や副作用が出た場合の補償制度を実施している自治体もあると聞いているが、本市においても少子化対策、子育て支援の一環として、その導入を検討してほしい。

【理事者】厚生労働省が日本での副作用等のデータが少なく、ヒブワクチンの有効性や安全性を判断していない現状や、予防接種法で定められて

いない任意予防接種のため万が一、接種により健康被害が発生した場合の補償問題などの理由により、現在のところ予防接種法が改正され、定期予防接種と認められるまで市が独自で実施する予防接種に位置付けるまでには至っていない。しかしながら今後も情報収集に努め、厚生労働省や大阪府下の状況等、今後の動向を注視したい。

高齢者の運転免許自主返上を促すための支援策について

【議員】毎日、交通事故が多発している。高齢者の事故が目立つ。高速道路を逆走するなど大きな事故が多い。認知症の疑い、あるいは記憶・判断力が落ちている高齢運転手が増えているようだ。一方、もう運転に自信がなくなったからと、二十年には三万人弱の免許の自主返上があった。ここ最近、返上する者が増えている。返上を促すために、バスやタクシーの割引など各サービスを提供する自治体が

農林業を基幹産業へとは・公共下水道の計画について

【議員】農林業を和泉市の基幹産業へとは、どのような農林業を目指しているのか。

【理事者】農業経営で生活できる、儲かる農業の展開は、みかんや花の栽培技術、その経験を活かし、付加価値の高い、新規農産物の作付けを推

たくさんある。府下ではまだどこも実施していない。和泉市として何か支援策を考えたかどうか。高齢者も車に代わる適当な移動手段がない。超

高齢社会を目前にして高齢者などの自立的移動支援を積極的に考えるべきではないか。

【理事者】返納を促すような方策について、他自治体の事例の検証・研究は必要かと考えている。また、高齢者を安易に道路交通の場から排除するのではなく、事故を起こさない、巻き込まれないことが大事と考えている。については、高齢運転者の特性、危険性について十分認識していただけるよう交通安全教育にも取り組む。

奨でできる研究を進め、国や府の制度を活用するとともに、販売戦略の構築により、和泉ブランドを目指していく。

【議員】和泉市の南部地域における公共下水道の今後の計画について市ではどのように考えているのか。

【理事者】平成20年度は、下水道計画区域内の現地調査を行い、施設平面図、区画割平面図、流量計算などを実施した。今年度については、昨年度の資料をもとに事業効率率などの事業計画を策定し、平成22年度には都市計画決定を、平成23年度には事業認可を取得し、平成24年度から事業実施を予定している。

和泉市における消費者行政の強化・拡充について

【議員】和泉市では2ヶ所の消費生活相談室で悪徳商法、多重債務、架空請求等々の市民相談にあたっている。その実施体系、利用状況は。

【理事者】本庁月々金、和泉シティプラザ水・金の10時～4時に資格をもつ3名の相談員が交替で実施している。昨年の相談件数は889件。

【議員】国では260億円の「地方消費者行政活性化基金」が成立。本市の使途は。

【理事者】相談室のセンター化、相談日の拡充、相談員の

処遇改善、複数配置、ステッカーの全戸配布などがある。

【議員】センター化や処遇改善など前以ての要望が叶い大変評価している。秋に消費者庁が発足するがその内容は。

【理事者】省庁ごとの縦割りであった消費者行政を一元化。実効性ある消費者行政を強化し消費者を保護する目的。

【議員】市でも同様に複数課の連携を要する。被害は子どもや障害者に及び昨年の被害総額は2億円以上。他市では顧問弁護士設置、小中高への出前講座、電話相談録音装置の設置等々が計画されている。和泉市民の生命と財産を守るため一層の取り組みを望む。

がん検診受診率向上への取り組みについて

【議員】わが国においては、がんの罹患率は年々増加し今や2人に1人が、がんを患い3人に1人が死亡するというまさに国民病の様を呈している。市の受診率を見ても低い数字のまま推移している。

こういった状況の中、国は今年度補正予算に女性特有のがんである子宮頸がんと乳がんの無料クーポンと検診手帳を配布することとしている。そ

和泉市アピール課の新設について

【議員】所信表明での「アピール課」とは、何をどのような体制でアピールするのか。

【理事者】市が「何をしているか」、また特産品や和泉ブランドなど、「待ち」の広報から「攻め」の広報へ転換し、和泉市の魅力をどんどん市内外に発信していきたい。

【議員】和泉市においては「久保惣記念美術館」という全国的にも素晴らしい施設が

ここで数点お聞きしたい。①市の受診率向上のための取り組み、②国の検診事業についての市の今後の予定、③すでに

受診が終わっている人への対応、④広域な医療機関の受け入れ、⑤学校でのがん教育。

【理事者】①受診率向上のために広報、HPで周知、又毎年40歳到達の人に受診勧奨の個別通知を行っている。②国の検診事業については9月1日付けで対象者に発送し6ヶ月以内に受診。③受診済の人については領収書等を添付し所定の手続きの上で返金。④

市民税10%減税と上下水道の10%減額の目的と効果について

【議員】市長のマニフェストに掲げられていた「市民税の減税及び上下水道料金の減額」というのは、どのような目的

市外の使用については難しい状況だが近隣市とは使用できるような調整していく。⑤学校でのがん教育について重要性は認識している。中学保健体育の中で調査、研究していく。

北部リージョンセンターについて

【議員】北部リージョンセンターの建設計画の策定に向け、施設利用者となる地域住民のご意見を聞くとともに、

検討いただきたい。

【理事者】駐車場用地などの実態を含め確認し、久保惣記念美術館を全国的にアピールするため、戦略的な取り組みを検討する。

で、どのような効果があるのかお聞きしたい。これは、市民税でいうと約10億円、上下水道の会計規模でいうと約5億円の税収の減となるがその財源をどこに求めるのか。また、その実施時期についてはいつからか。また、この収入減となる財源として「職員の給与」は考えているのか。

【理事者】単なるバラマキ行政として行うわけではなく、市民や市内業者のご協力、ご理解を仰ぎながら、具体的な手法を検討していく。また、

財源の裏づけについては、その実現には、市民を含む外部のご意見も頂戴しながら知恵を絞り策定する。また実施時期について、現時点では、4年間の任期中としか言えないができる限り早い段階での実施に努める。人件費を減税・減額の財源としてカットするかどうかは、現時点では言及すべき段階ではない。

住民自らが計画づくりに参加してもらうことが重要であり、現在、建設協議会的な組織を立ち上げ地域へお伺いする準備をしていると聞いたが、どの程度進んでいるのか。

【理事者】北部地域に位置する5名の校区会長と数回にわたり協議会設立に向けた市の考え方を話させていた。組織構成については様々なご提案をいただいたが、最終的には各校区のご推薦により協議会を組織化することで意見がまとまり、今年度から組織化を図り整備構想の枠組

みを地域との協働で取りまとめるとともに、建設財源となる補助制度や起債制度の研究も進めてまいりたい。

【議員】北部リージョンセンター整備に際して市長は今後どのように進めていくのか。また、新市長になって整備事業が早くなるのか、遅くなるのかもあわせて聞きたい。

【理事者】地域住民の思いは充分理解しているので、決して後退することなくこれまでの経過、財政状況を勘案しながら努力していきたい。



市民税・上下水道料金の引き下げについて

【議員】市民税や上下水道料金の引き下げに当たって、地方債や基金への影響、手数料の引き上げや市民サービスの低下等、市民負担を前提にしないことを確認できるか。

【理事者】公約実現の財源を市民サービスの単なる切り捨てや受益者負担の増額、市債、基金などに安易に依存する考えはない。しかし、施策の方向性や事業の取捨選択などの検討は常に必要であると認識している。

【議員】自身の任期中に限って行うのであれば、4年間かけて検討していたのではみずからの任期は終わってしまう。少なくとも来年ぐらいから実施するぐらいのスピード感が必要ではないか。市民税の引き下げを公約にした名古屋市は恒久減税で11月に条例改正を、半田市は来年度から実施予定と聞いている。行程表をお示しいただきたい。

【理事者】役所の中の改革を伴うので、現時点で工程表を何時出せるかを明らかに出来ない。

【議員】継続性のある施策ではなく自分の任期中の施策であるということ等、ばらまきとしかうつらないような公約であったという感想を持っている。

障害者施策について

【議員】障害者等給付金はなぜ精神障害者を対象外としているのか。また併せて、軽自動車税減免および上下水道料金の福祉減免についても精神障害者への対象を拡充すべきではないのか。

【理事者】障害者等給付金については、精神障害者保健福祉手帳交付制度が法で定められたのは平成7年度からで、本市の障害者等給付金要綱は平成2年度に制定され、その時点では精神障害者保健福祉手帳の交付制度がなかった。その後、給付対象を見直すことなく現在に至っている。3障害が一元化されたことに伴い、精神障害者への給付のあり方について検討していく。軽自動車税の減免については、精神障害者は1級のみ対象

市職員雇用の現状について

【議員】直近6ヶ月の職員の残業総支給額はいくらか。月平均残業時間の多い5部署の時間数は。非正規職員の数は。生活保護担当ケースワーカーは基準数に対し何人か。

【理事者】今年1月から6月までの時間外手当総支給額は約1億3千6百万円。1人当たり月平均残業時間の多い5部署の時間数は93・7H、58・7H、52H、46・9H、41・2H。非常勤と臨時職員数は合計704人である。80

象となっている。府内では2級までが1市、3級までが11市町となっており、他市の状況も参考にしながら必要性があるかどうか研究していく。上下水道料金の福祉減免制度だが、福祉減免を行っているのは大阪市を除く府下32市中、本市を含め12市で、精神障害者も対象としているのは12市中3市。今後内容を十分調査し関係各課と協議していく。

議会映像インターネット配信
お知らせ

和泉市議会では、今年の9月に開催予定の第3回定例会から、インターネットを通じて、本会議のライブ中継と録画映像を配信いたします。

これは開かれた議会に向け、さらなる行政サービスを充実させるため、市議会ホームページにおきまして本会議中継をリアルタイムで配信し、積極的に公開することによって、透明性・公平性のある市議会を目指します。

また、これからも市民の皆さまに、市議会に少しでも興味をもっていただけるよう取り組んでいきます。



世帯に1人の国基準ケースワーカー数では28人必要で、和泉市は7人不足している。

【議員】残業が毎日あること自体おかしい月40日は毎日2H残業となり、職員が少ないのではないかと。臨時職員やアルバイト保育士は正職員より、毎日15分短い労働時間だが、月の手取収入はいくらか。

【理事者】人口千人当たりの一般行政職員数3・88人は府

下4番目に少ないが財政的に厳しく非正規雇用は有効な手段の一つ。臨時職員11万7千円、アルバイト保育士14万5千円の手取月収入である。

【議員】生活保護基準と大差ない収入でも調査では非正規の人の方が働きがいを感じている。正規雇用を増やし、過労と「官製ワーキングプア」をなくす努力をすべきだ。

決算審査特別委員会の設置に伴 ない、次の委員が選任されました。

- ◎赤阪 和見 ○浜田 千秋
友田 博文 藤田 充
着本 直幸 森 悦造
原口 裕見 辻本 孔久
早乙女 実 知覧 正勝
須藤洋之進 柏 富久蔵
- ◎は委員長 ○は副委員長

人事案件

今定例会では、市長から次の方々の選任・任命があり、議会として同意しました。

- ◆副市長 飯坂 俊明氏
山下 和也氏
- ◆固定資産評価員
飯坂 俊明氏
- ◆教育委員会委員
石川 清氏

第2回臨時会

平成21年第2回臨時会が5月28日に開催されました。今臨時会では、市長から「和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」など、議案が10件、報告が4件上程され、すべての案件について、慎重な審議が行われました。

その中で「専決処分の承認を求めることについて（和泉市税条例等の一部改正）」では株式の配当所得や譲渡所得の特例として、

所得税・住民税あわせた税率10%の軽減措置を延長することに對して、また64歳から65歳になる高齢者の年金所得にかかる市民税の特例徴収の仕組みについて、各議員からは、それぞれ市民の方の立場に立って、さまざまな意見や要望が述べられました。またその他上程された案件につきましても、活発な審議が行われました。

なお、今臨時会で出されました議案や報告につきましては、すべて可決等されました。

意見書

今定例会では4件が可決され、各関係省庁に送付されました。

- ◆ハローワーク機能の抜本的強化を求める意見書
- ◆核兵器廃絶の国際条約締結へ、政府の具体的な努力を求める意見書
- ◆基地対策予算の増額等を求める意見書
- ◆現行の児童福祉法に基づく、保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算を大幅増額し、地方自治体での保育・子育て施策推進のための財政保障拡充を求める意見書

定例会議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●工事請負契約の変更について（上伯太線橋梁工事）	総務安全 常任委員会	可決 （賛成多数）
●和泉中央丘陵新住宅市街地開発事業に関連する公園事業の直接施行同意について（つくしの公園）	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市ひとり親家庭医療費の助成に關する条例の一部を改正する条例制定について	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●平成21年度和泉市一般会計補正予算（第2号）	各所管 常任委員会	可決 （賛成多数）
●平成21年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●平成21年度和泉市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	都市環境 常任委員会	可決 （全会一致）
●平成21年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●平成21年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	厚生文教 常任委員会	可決 （全会一致）
●和泉市特別職の職員の給与に関する条例及び和泉市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に關する条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	不採択 （賛成少数）
●情報公開制度の運用に関する請願		
その他、議案4件、報告22件、監査報告10件、意見書4件が可決等されました。		



* 常任委員会視察報告

議会では、市民生活の向上や市政の発展に資するため、各常任委員会ごとに行政視察を行っています。平成21年度に実施した視察は次のとおりです。

都市環境委員会

日時：4月20日～21日

視察先：東京都品川区、東京都江戸川区

目的：密集住宅市街地における狭あい道路
拡幅整備事業について、ハイテク駐
輪場による放置自転車解消について



厚生文教委員会

日時：4月21日～22日

視察先：東京都江東区、東京都港区

目的：電子黒板導入による予算関係と小・
中学校の授業の効果面について、
国立新美術館について



総務安全委員会

日時：4月22日～23日

視察先：山口県周南市、兵庫県神戸市

目的：わかりやすい予算解説書について、
ひと・輝きプロジェクトについて、
人と防災未来センターについて



傍聴してみませんか

■本会議■

場所：議場（1号館4階）

（入口は1号館3階

税務室資産税横）

定員：議場40席（車いすスペース3台分）

■委員会■

場所：委員会室（3号館3階）

定員：委員会室7名（音声傍聴10席）

市議会では、市民のみなさまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくため、ぜひ傍聴されてはいかがでしょうか。傍聴は、傍聴受付で備え付けております傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで、どなたでも簡単にできます。

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できます。なお、委員会につきまして定員を超える場合には抽選となりますのでご了承ください。

平成21年第2回定例会の傍聴者数

（本会議／傍聴者のべ人数）

7月13日（月）57人、28日（火）39人

29日（水）8人、30日（木）3人

合計 107人

（委員会／傍聴者のべ人数）

総務安全委員会 3人 都市環境委員会 0人

厚生文教委員会 3人 合計 6人

* 第3回 * 定例会の予定

平成21年第3回定例会は、次の日程で開催される予定です。なお、議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話：0725-41-1551（内線1722・1725）

日 程	会 議	場 所	開 会 時 間
9月7日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
9月14日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
9月15日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月16日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月17日(木)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月18日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
9月28日(月)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月29日(火)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月30日(水)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
10月1日(木) ～7日(水)	本会議(役員選挙)	議 場	午前10時